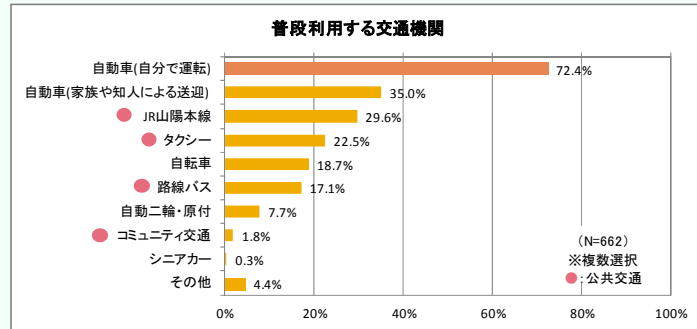


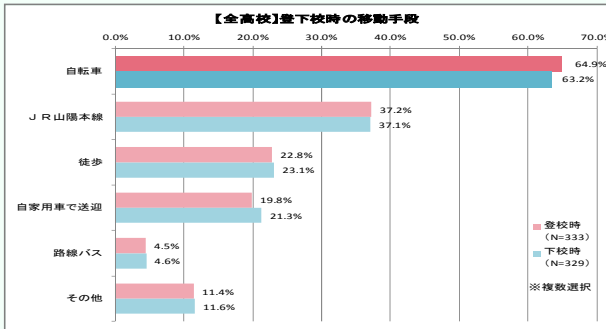
○普段利用する移動手段

■市民



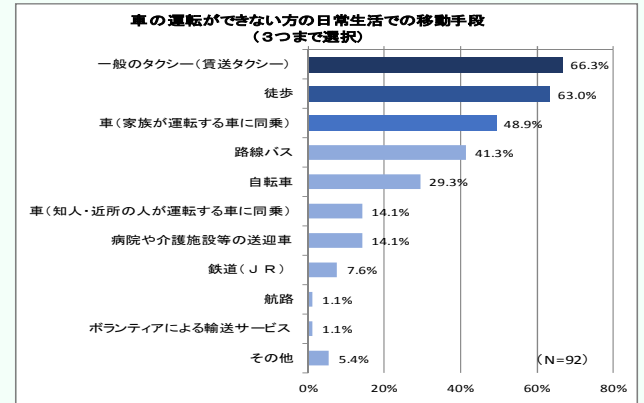
資料:「光市の公共交通に関するアンケート調査(平成28年度)」

■高校生(登下校)



資料:「高校生アンケート調査(平成28年度)」

■車が運転できない高齢者

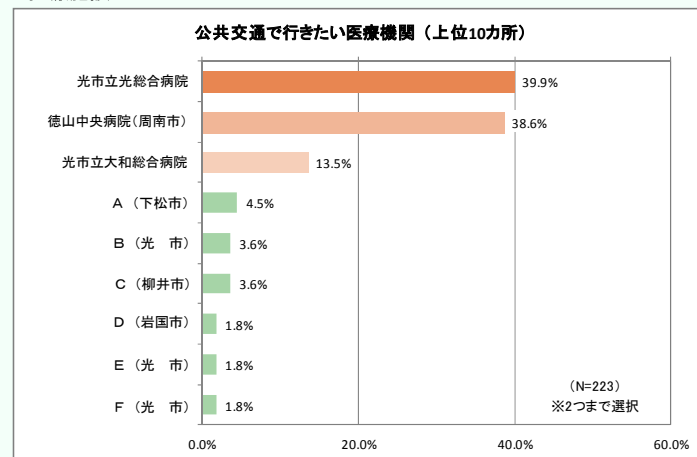


資料:「民生委員を対象とした高齢者の移動と生活交通に関するアンケート調査(平成28年度)」

- 市民全体では、「自分で運転する自動車」が最も多く、7割以上。鉄道は約3割、路線バスは2割弱。
- 高校生(登下校)では、「自転車」が最も多く、6割以上。鉄道は4割弱、路線バスは1割未満。
- 車の運転ができない高齢者では、「一般のタクシー」が最も多く、6割以上。鉄道は1割未満、路線バスは4割以上。

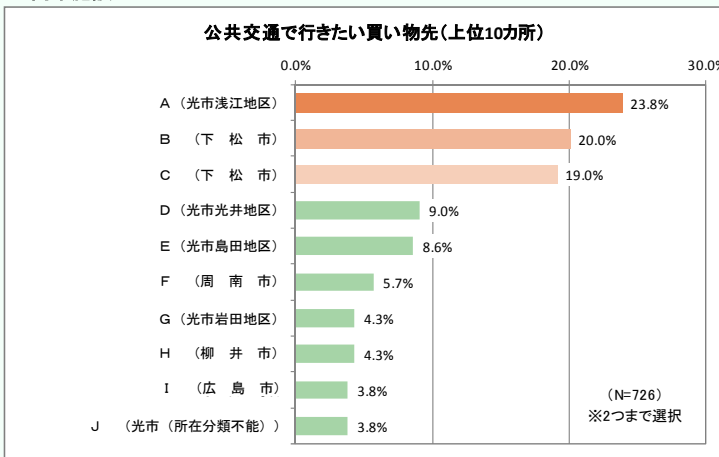
○公共交通で行きたい施設

■医療施設



資料:「光市の公共交通に関するアンケート調査(平成28年度)」

■商業施設



資料:「光市の公共交通に関するアンケート調査(平成28年度)」

■医療・商業施設以外で、公共交通を運行してほしい場所

行きたい場所	回答者数(人)
あいばーく光	8
光市役所	7
JR光駅	5
光市民ホール	4
光市立図書館・文化センター	4
JR岩田駅	3
ゆーばーく光	3
JR島田駅	3
冠山総合公園	2

資料:「光市の公共交通に関するアンケート調査(平成28年度)」

- 公共交通で行きたい医療機関は、「光市立光総合病院」が39.9%で最も高く、次いで市外の「徳山中央病院」38.6%。
- 公共交通で行きたい買い物先は「浅江地区に立地する店舗A」が23.8%で最も高くなった。次いで下松市に立地する店舗Bが20.0%、下松市に立地する店舗Cが19.0%。
- 医療機関、買い物先以外の行きたい場所については「あいばーく光」(8人)、「光市役所」(7人)、「JR光駅」(5人)等。

●光市の公共交通に関するアンケート調査(平成28年度)

対象者 : 2,000世帯(普段から公共交通が必要な方を優先)
 実施時期 : 平成28年9月20日(火)～10月2日(日)
 回収率 : 42.0% (840/2,000)
 回答者の約7割が65歳以上。東部27.1%、西部24.2%、南部26.9%、北部21.8%。

●高校生アンケート調査(平成28年度)

対象者 : 市内の高校に通学する2年生全員
 実施時期 : 平成28年9月21日(水)～10月7日(金)
 回収率 : 79.6% (339/426)
 市内から市外の高校への通学者は含まない

●民生委員を対象とした高齢者の移動と生活交通に関するアンケート調査

対象者 : 民生委員122人
 実施時期 : 平成28年9月25日(月)～10月3日(月)
 回収率 : 78.7% (96/122)

公共交通に関する市民意識及び買物動向

○鉄道（JR山陽本線）に関して、改善すべき点

■利用者

主な意見	回答者数
運行本数を増やす	48
駅構内の段差解消等バリアフリー化	33
バスとの乗り継ぎを便利にする	31
駅周辺にマイカーを停められる駐車場を整備する	24
鉄道同士の乗り継ぎ改善（新幹線含）	19
終発の時間を速くする	8
駅の反対側からのアクセス改善	7
職員の対応	6
待合環境整備	5
時刻表や運行状況等の表示改善	4

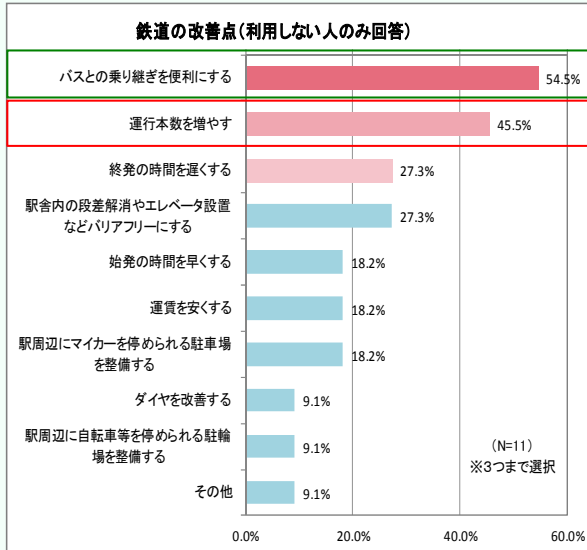
資料：「光市の公共交通に関するアンケート調査（平成28年度）」

■高校生利用者

主な意見	回答者数
運行本数を増やす	62
車両を増やす	5
徳山駅での停車時間を短くしてほしい	4
運賃を安くする	2

資料：「高校生アンケート調査（平成28年度）」

■非利用者



資料：「光市の公共交通に関するアンケート調査（平成28年度）」

- 全体的に「運行本数の増加」に関する要望が多い
- 鉄道利用者からは、「運行本数の増加」に関する意見が最も多く、その他、「施設のバリアフリー化」、「バスや他路線との乗継改善」に関する意見や、「駐車場整備」に関する意見が多い
- 高校生（登下校）利用者からは、「運行本数の増加」に関する意見が非常に多い
- 鉄道を利用しない人（回答者11人のみ）からは、「バスとの乗継改善」に関する意見が最も多く、次いで「運行本数の増加」に関する意見が多い。また、「終発を速く」「始発を早く」といった、運行時間帯の拡大を求める声もある

○路線バスに関して、改善すべき点

■利用者

主な意見	回答者数
運行本数を増やす	45
鉄道との接続	17
運賃を安くする	11
ルートを改善する	9
バス停の待合環境（風雨対策）	4
時刻や料金等の情報提示	4
バリアフリー	3
人が乗っていない	3
小型化	3

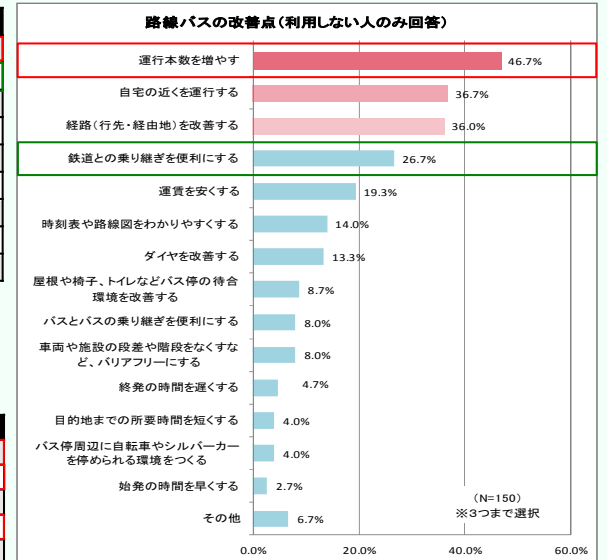
資料：「光市の公共交通に関するアンケート調査（平成28年度）」

■高校生利用者

主な意見	回答者数
運行本数を増やす	11
朝の運行本数を増やす	4
運賃を安くする	4
夕方～夜の運行本数を増やす	2
高校の近くにバス停がほしい	2

資料：「高校生アンケート調査（平成28年度）」

■非利用者



資料：「光市の公共交通に関するアンケート調査（平成28年度）」

- 全体的に「運行本数の増加」に関する要望が多い
- 路線バス利用者からは、「運行本数の増加」に関する意見が最も多く、その他、「鉄道との乗継改善」に関する意見や、「運賃」「ルート改善」に関する意見が多い
- 高校生（登下校）利用者からは、「運行本数の増加」に関する意見が最も多く、次いで「運賃」に関する意見が多い
- 路線バスを利用しない人からは、「運行本数の増加」に関する意見が最も多く、次いで「自宅近くを運行」、「ルート改善」、「鉄道との乗継改善」、「運賃」に関する意見が多く、おおむね路線バス利用者の意見と同様の傾向

本市における公共交通の課題（光市地域公共交通網形成計画）

公共交通ネットワークに関する課題

- 都市構造の転換への対応
将来的な都市の骨格構造を見据えた公共交通ネットワークの構築
- 地域に応じた公共交通サービスの確保
地域の特性に応じた効率的で利便性の高い移動手段の確保
- 交通結節環境と乗継利便性の向上
交通結節機能や環境の向上を図り、乗継にかかる利用者の利便性向上のための取組み
- 光総合病院の移転新築に伴う公共交通の結節
光総合病院や光駅周辺地区における拠点整備事業、瀬戸風線の開通などへの対応

利用促進に関する課題

- わかりやすい情報提供の実施
公共交通全体の路線や運行ダイヤ、乗継情報など、市民にわかりやすい情報提供
- 財政負担の適正化
公共交通を将来にわたって持続可能なものとするため、効率的な公共交通ネットワークの構築
- 公共交通の利用促進
公共交通を維持し、将来にわたって継続していくためには、公共交通の利用者の増加が必要不可欠。積極的な市民参画を進める必要

都市構造上の主たる課題としては・・・

公共交通サービス水準の維持・向上

公共交通に関する市民ニーズ（特に増便、乗継改善に関するニーズ）は高い一方で、近年、利用者数は減少傾向にあり、今後、全体的に人口が減少すると利用者がさらに減り、市から交通事業者への補助金支出の増加や、廃止路線の増加等の公共交通サービス水準の低下あるいは高齢者をはじめとした公共交通利用者の外出機会の減少などが懸念される。

交通結節機能の強化などによる利用の促進や、将来的な都市の骨格構造を見据えた公共交通ネットワークの再構築などにより、効率的で利便性の高い交通体系を確立し、公共交通サービス水準の維持・向上を図る必要がある。

公共交通に関する市民意識及び買物動向

〇年代別業態ごとの利用率（全国都市圏）

業態	30代	40代	50代	60代	70代
1. 百貨店	41.1	46.7	46.5	54.5	56.6
2. 総合スーパー	57.2	30.6	73.6	51.1	73.2
3. 食品スーパー	72.8	34.0	33.6	64.1	69.2
4. コンビニエンスストア	92.1	92.2	92.1	86.4	80.1
5. ドラッグストア	33.9	38.7	31.8	75.3	79.4
6. 衣料チェーン専門店	33.1	36.7	32.5	31.1	66.8
7. 家電量販店	34.7	37.1	33.5	37.1	72.8
8. 総合百貨店	46.7	36.0	31.8	40.2	19.1
9. ディスカウントストア	54.2	75.7	74.1	66.7	47.4
10. ホームセンター	63.0	30.6	34.7	68.6	73.0
11. ショッピングセンター・モール	73.7	72.7	71.2	84.4	82.1
12. アウトレット	92.8	32.2	43.1	29.4	23.0
13. ネットショッピング	95.0	59.8	54.8	56.4	31.7

男性
女性

食品店
百貨店

〇市民の買物動向

■光市の地元購入率及び他地域からの流入率

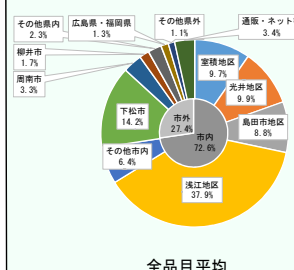
地域	品目													平均	外資	調査方法
	食品	衣料	靴	文具	玩具	日用品	家電	家具	その他	その他	その他	その他	その他			
光市	82.3	59.5	43.1	46.5	37.3	63.1	70.9	75.2	56.8	58.9	59.3	70.5	36.1			
旧大和町	84.1	61.9	45.8	48.1	39.7	64.7	73.0	77.7	57.9	60.4	61.9	72.6	37.3			
旧熊毛町	70.5	43.4	31.3	35.4	24.5	31.6	37.8	38.7	49.4	48.8	44.1	58.2	29.9			
旧吉野町	7.2	13.8	11.3	6.5	8.1	7.1	7.3	11.7	4.2	5.1	10.6	8.3	10.3			
旧吉野町	3.9	13.8	10.1	9.2	6.7	3.7	4.7	3.5	16.4	3.0	7.6	4.9	9.5			
上徳町	2.9	7.1	4.3	4.3	2.3	1.4	3.1	2.3	2.6	0.4	1.9	2.7	2.6			
下松市	1.3	2.7	2.7	2.1	1.7	1.3	1.0	1.8	2.4	3.6	2.0	3.5	4.4			
柳井市	0.5	3.3	3.1	1.4	1.5	0.5	0.7	0.7	1.6	1.0	0.6	0.9	5.7			開外
旧吉野町	0.5	0.7	0.4	0.5	0.5	0.4	0.5	0.6	0.7	0.5	0.5	0.7	2.2			
新大和町	0.3	2.1	1.7	2.1	1.6	0.0	0.5	0.9	3.3	0.0	0.5	0.5	3.1			
旧吉野町	0.1	0.2	0.2	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.5	0.3	0.1	0.1	1.0			

〇本市の地元購入率は全品目平均で70.5%（県平均81.0%）、生活に最も身近な飲・食料品が82.3%（県平均89.3%）と、いずれも県内の他都市と比較して低い割合
〇他地域からの買物流入は、周南市の旧熊毛町地区から全品目平均8.3%の流入があるが、全体的に少ない

資料：「山口県買物動向調査（平成24年）」

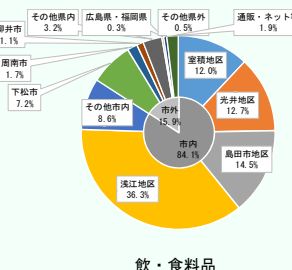
■購入先別金額割合

旧光市域

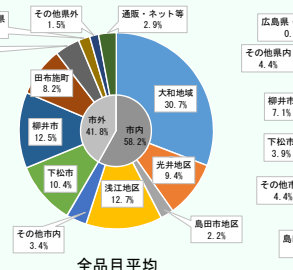


全品目平均

旧大和町域



飲・食料品



飲・食料品

資料：「山口県買物動向調査（平成24年）」より作成

資料：公益財団法人ハイライフ研究所
「都市生活者意識調査レポート第六回買物行動調査報告（平成24年度）」

【旧光市域の方】
〇購入先別金額割合（全品目平均）について、浅江地区が37.9%と最も高く、次いで下松市が14.2%
〇生活に最も身近な飲・食料品についても、下松市が7.2%と一定の割合を占めている
【旧大和町域の方】
〇購入先別金額割合（全品目平均）について、大和地域が最も高く、次いで浅江地区、柳井市、下松市

■日常的な買い物の行き先

年	行き先									
	光市内	下松市	周南市	柳井市	田布施町	平生町	その他	無回答	合計	
10代	25	10	2	3	-	-	1	-	41	37
20代	92.6	37.0	7.4	11.1	-	-	3.7	-	144.8	127.8
30代	46	27	6	5	1	-	4	-	89	83
40代	78.0	45.8	10.2	8.5	1.7	-	6.8	-	141.0	131.0
50代	79	42	2	3	-	-	2	-	126	116
60代	92.9	49.4	2.4	-	-	-	2.6	-	145.3	135.3
70代以上	135	42	3	9	5	1	2	-	197	187
無回答	91.8	28.6	2.0	6.1	3.4	0.7	1.4	-	136.3	126.3
合計	125	40	4	12	5	2	5	1	193	183
平均	92.6	29.6	3.0	8.9	3.7	1.5	3.7	0.7	141.2	131.2
標準偏差	29.1	13.1	0.9	2.1	0.9	0.4	1.4	0.3	46.6	43.6
90%	95.1	42.8	2.6	6.9	2.6	0.3	1.3	-	149.0	139.0
95%	430	133	13	15	28	8	12	3	637	607
99%	95.3	29.5	2.9	3.3	6.2	1.8	2.7	0.7	151.5	141.5
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0

資料：「第2次光市総合計画の策定に向けた市民意識調査（平成28年）」

■光市の今後の都市づくりに向けた市民アンケート調査
都市づくりについての提言（自由意見）
〇大型ショッピングセンターの誘致に関する意見が多い（10件）

【若年層の買物ニーズ】
本市にはなく、隣接市にあるような商業機能（特に、大型ショッピングセンター）に関する一定の市民ニーズが想定される